

臨床研究の実施に関する情報公開

当院では、多機関共同研究の代表機関である静岡県立総合病院臨床研究倫理委員会にて審査を受けたうえで、所属機関長の許可を得て下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用、提供されることにご了承いただけない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名	食道癌術後肺炎に対する呼吸サルコペニアの影響
対象者	2007年1月より2024年12月までの16年間に当院で食道癌に対して食道を摘出する手術を施行した患者さんを対象にしています。
研究期間	研究機関の長の実施許可日 ～ 2027年3月
試料・情報の利用又は提供を開始する予定日	2026年2月20日
	<p>サルコペニアとは、全身の骨格筋量の減少と筋力低下が起きる状態を指し、食道癌術後肺炎の予測に関連する因子になると言われています。近年、呼吸機能に特化した「呼吸サルコペニア」が注目されています。これは呼吸筋力と呼吸筋量の両方が低下した状態を指します。食道癌術後肺炎のリスクにおいて呼吸サルコペニアが関連すると言われてはいますがその報告は多くありません。これは主要な呼吸筋である横隔膜が体の深部にあるため、筋量を評価しにくいことが要因です。そのため、現在は呼吸筋量の評価を全身筋量で代用して呼吸サルコペニアを評価しています。</p> <p>そこで我々は呼吸補助筋のひとつである胸鎖乳突筋に着目しました。胸鎖乳突筋は首の側面に存在し、主に大きく呼吸をするときに使用する筋肉です。また、横隔膜と比較して評価が容易です。本研究では、胸鎖乳突筋を用いた呼吸サルコペニアの評価方法と従来から用いられている全身筋量を使用した評価方法を比較し、食道癌術後肺炎に対してより関連する項目を明らかにすることを目的としています。</p>
利用または提供する試料・情報の項目及び利用方法	<p><収集する方法・項目></p> <p>以下の情報を診療録より収集します。</p> <ul style="list-style-type: none">・患者背景（年齢、性別、身長、体重）・手術成績（術式、時間、出血量）・呼吸機能検査・胸鎖乳突筋(首の筋肉)と大腰筋、傍脊柱筋(腰の筋肉)の筋肉量（CT画像から評価）・術後肺炎の有無 など <p><試料・情報の授受の方法></p> <p>当院で収集した試料・情報は、個人を特定することができないように研究用の識別番号を用いて加工し、当院と共同研究機関である名古</p>

	屋市立大学で解析します。
研究実施体制	<p><研究代表機関および研究代表者> 静岡県立総合病院 澤井 翔太</p> <p><共同研究機関および研究責任者> 名古屋市立大学 中谷 英仁</p>
問い合わせ先	<p>他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り、本研究の計画や関連資料を閲覧することが可能です。この研究に関するお問い合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。</p> <p>静岡県立総合病院 リハビリテーション科 澤井 翔太 小木 曾弘</p> <p>電話番号：054-247-6111（代表）</p>